

みんなの健康ラジオ

『外用薬(塗り薬)の適切な使い方』

～ステロイド外用薬について～

(2026年5月14日放送)

横浜市皮膚科医会

けいゆう病院

河原 由恵

ステロイド外用薬の強さ

強

• I 群 Strongest

• II 群 Very strong

• III 群 Strong

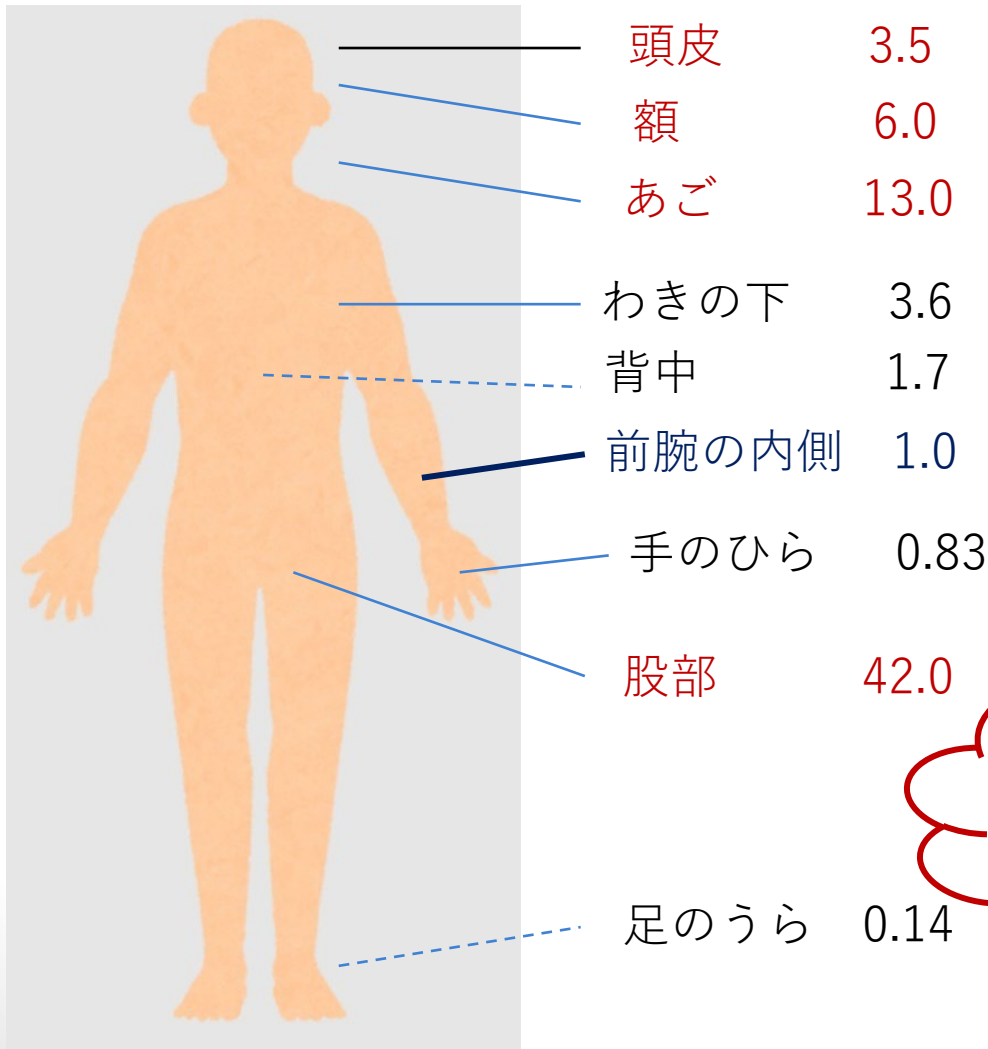
• IV 群 Medium

• V 群 Weak

弱

市販薬あり

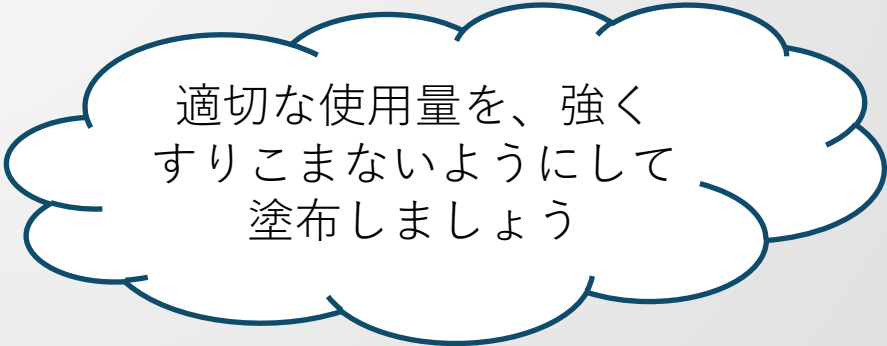
ステロイド外用薬の 部位による吸収の違い



**吸収されやすい部位ほど
副作用もでやすい!**

ステロイド外用薬処方時に 医師が考慮しているポイント

- 部位・炎症の程度・年齢に応じた適切な強さ
- 使用期間



適切な使用量を、強く
すりこまないようにして
塗布しましょう

ステロイド外用薬でおこいする副作用

- 毛細血管拡張 ←血管への作用
- ニキビ、おでき ←毛穴・皮脂腺への作用、ぬった部位の免疫力低下
- 皮膚がうすくなる
- 真菌（カビ）感染 ←ぬった部位の免疫力低下
- ウイルス感染 ←ぬった部位の免疫力低下
- 接触皮膚炎（かぶれ）

ステロイド外用薬のよくある誤解

Q.ステロイド外用薬を塗れば塗るほど皮膚が黒く、硬くなる？

ステロイド外用薬を塗ることで皮膚が黒く、硬くなることはありません。むしろ適切な治療をせずに炎症を長引かせることにより、色素沈着がおこり皮膚が黒くなったり苔癬化といってゴワゴワとした硬い皮膚になることがあります。また、炎症が治ったあとに皮膚が黒くなるのは正常な反応です。